



広島県議会議員  
**石津正啓**  
E-mail: rtccr129@yahoo.co.jp

発行 公明党広島県議会議員団  
〒730-8509 広島市中区基町10-52  
連絡先 石津まさひろ事務所  
〒720-1147 福山市駅家町向永谷131-4  
TEL・FAX: 084-976-6509

No.6

県政に皆さまの声を届けます。  
ご意見・御要望をお待ちして  
おります。

## 2021年11月22日令和3年度決算特別委員会

### 排水ポンプ車の今後の整備計画

### 委員会での主な質疑応答

**質問** 排水ポンプ車の拡充についてお伺いいたします。

豪雨災害が発生する頻度が増えており、本年も発生しております。私の地元の西谷川でも、毎回、大雨が降ると河川が氾濫し、道路が冠水したり、悪いときには床上浸水になったりするところがあります。今回も8月豪雨のときには、深夜に大雨となり、河川が氾濫しそうになったときに、排水ポンプ車が1台では足りず、県の職員が機転を利かせて、2台目の排水ポンプ車を設置することによって水害を免れました。

また、広島市でも、奥迫川が氾濫しそうになったところを、急遽、国土交通省の排水ポンプ車を手配し、水害を免れたところもありました。河川の氾濫をもたらす線状降水帯がいつどこで発生するか、まだ正確に把握することも難しい中、こうした機動性に優れた排水ポンプ車の必要性はとても大事であり、頼りになる車両であると実感しております。

特に、毎年大雨が降ると道路の冠水や床上浸水を起こす地域では、まずは、各自治体でこうした水害に備える設備を整備する必要があるのではないのでしょうか。

そこで、県や国、各市町の排水ポンプ車の配置状況を踏まえた今後の県の整備計画について土木建築局長にお伺いいたします。

**答弁** (土木建築局長) 近年、本県におきましては、平成30年7月豪雨をはじめ、本年7月、さらに8月の記録的な豪雨により県内各地で河川の氾濫や内水氾濫による浸水被害が発生しており、その被害の防止・軽減を図るために排水ポンプ車の役割は重要であると考えております。

そのため、本県では、浸水被害の発生に機動的に対応するため、現在、西部建設事務所、東部建設事務所及び三原支所に合計4台の排水ポンプ車を配備しており、国が保有している15台と合わせて、市町等の要請に応じて出動するなど危機管理体制を整備しているところでございます。

こうした取組により、本年の豪雨におきましては、福山市の西谷川、広島市の奥迫川をはじめ、三原市の天井川、安芸高田市の多治比川など、県内各所へ排水ポンプ車が出動し、浸水被害の防止・軽減に寄与したものと認識しております。

現在、さらなる豪雨の激甚化・頻発化に対応するため、配備箇所からの出動範囲等を考慮しつつ、配備の拡充を検討しているところであり、引き続き、事前防災のためのハード対策を着実に推進するとともに、豪雨時における危機管理体制の強化にも取り組んでまいります。



### 新型コロナウイルスワクチン接種に関する緊急要望

2021年5月15日 湯崎知事への緊急要望要旨

- 1 大規模接種会場の確保について
- 2 ワクチン接種を担う医療人材の確保について
- 3 各市町の接種体制整備への支援等について
- 4 弾力的な優先接種の判断について

# 2021年11月29日 新産業振興・雇用対策特別委員会

## コロナの影響と就労支援

**質問** 就労支援についてお伺いします。就職氷河期や新型コロナウイルスの影響で失業した人の就労支援に対して広島県はどのような取組を行っているのか、お伺いします。

**答弁** (雇用労働政策課長) コロナの影響もございまして、厳しい雇用状況が続いていると認識しています。県においては、本年6月に働きたい人全力応援ステーションを県内2か所に設置しておりまして、企業訪問による求人開拓やカウンセラーによる伴走型の支援に取り組んでいるところです。

## トライアル雇用制度について

**質問** 国の制度でトライアル雇用制度がありますが、これについてお伺いします。

**答弁** (雇用労働政策課長) トライアル雇用助成金については、就職が困難な求職者について、ハローワーク等の紹介で一定期間トライアル雇用をした場合に助成されるものでございまして、求職者と求人者の相互理解の促進により早期就職を図ることを目的としております。

## トライアル雇用制度の周知

**質問** トライアル雇用は職業経験の不足などから就職が困難な求職者を原則3か月間、試行雇用することによって適性能力を見極めて常用雇用への移行のきっかけとしていただくことを目的とし、こういったトライアル就職を得ることで求職者は自分に合った職場かどうかをイメージしやすくなるということです。企業も面接だけでは分からない人柄や適性や働きぶりを通して判断できて円滑なマッチングにつながりやすいと言われております。

そこで、県の様々な支援制度をはじめ、このような支援策の周知はどのようにされているのか、お伺いします。

**答弁** (雇用労働政策課長) 国の助成制度をはじめ、県の就職支援策もありまして、まずはハローワーク等の窓口で一元的に周知させていただくとともに、市や町の生活困窮者の窓口においても働きたい人全力応援ステーションの相談対応の内容を周知させていただき、場合によってはその窓口での相談対応などもさせていただいているところです。

## 要 望

ぜひ個々の状況に応じて支援する仕組みを着実に実施していただきたいと思います。

また、感染症の拡大等により、新たな氷河期世代を生まないよう、1人1社制や新卒一括採用等の労働慣行を必要に応じて見直すとともに、オン

ライン面接などのオンライン就職活動なども取り入れ、より多くの方が幅広く就職活動ができるような工夫もお願いし、県としても県民の皆様の生活再建に関わる様々な就労支援を全力で後押ししていただけるよう要望して質問を終わります。

### 横断歩道修復 (加茂町下加茂)



◀修復前



▼修復後

### 雑木除去 (服部川)



◀除去前



▶除去後

### 道路表示修復 (駅家町上山守)



◀修復前



▶修復後